

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立柏ヶ谷小学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

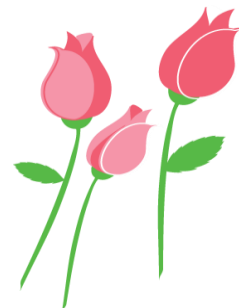
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較できている点

- 「原因と結果など情報と情報との関係について理解しているか」という問題では、県・全国の正答率を上回りました。授業の中で、文章をていねいに読み、意見と事例など必要な事柄を関連づけて理解することができるようになってきたと考えられます。
- 「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるか」という問題では、県・全国の正答率を上回りました。国語の「読むこと」の学習において、授業ごとの課題を適切に把握することや、課題解決に必要な情報を図表から読み取ることができるようになってきたと考えられます。

◆課題のある点

- 「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるか」という記述式の問題では、県・全国の正答率を下回りました。また、「自分の考えをまとめることができるか」「書き表し方を工夫することができるか」という問題では無解答率が高い結果となりました。このことから、読み取ったことに対する感想や意見など、自分の考えを言語化することについて課題があると考えられます。
- 「日常よく使われる敬語を理解しているか」という問題では、県・全国の正答率を下回り、無解答率も高い結果となりました。日常の生活で敬語を使って話していないことが考えられます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- どの学習でも物事に対して自分の考えをもてるように、事象を説明したり意見を述べたりする活動、事実や経験を基に感じたり考えたりしたことを話す活動や書く活動を重ねることで、自分の意見を伝えることに対する抵抗感をなくし、国語を使って適切に表現する資質・能力を高めていきます。
- 休み時間と授業中など、場面に応じて言葉を使い分けることを教師も意識し、どの学習でも教師と児童が正しい敬語を使って意見を伝えられるように授業を進めていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「正方形の意味や性質について理解しているか」や「台形の意味や性質について理解しているか」という問題では、正答率が高かったです。基本図形の性質や面積の求め方を正確に理解している児童が多いです。
- 「二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるか」という問題では、正答率が高かったです。目的に応じてデータを正確に読み取ることができる児童が多いです。

◆課題のある点

- 「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるか」という問題では、県・全国の正答率を下回りました。無解答率も高く、自分の考えを文章で表現するのが苦手な児童が多いです。
- 「示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるか」という問題では、県・全国の正答率を下回りました。学習したことを基に、日常生活と関連づけて考えるのが苦手な児童が多いです。

今後の具体的な指導改善のポイント

- さまざまな図形を比較したり、求め方の根拠を確認したりする話し合い活動を通して、理解を深めていきます。
- 具体物の操作や日常事象の観察など、体験を伴う学習を取り入れることで、実感を伴った理解につなげていきます。
- 国語と同様、自分の考えをもち、それを言葉や文章で表現する活動を授業に取り入れるとともに、「なぜそう考えるのか」「根拠」「理由」も同時に考えることができるよう、効果的な発問・問い返しを工夫していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 朝読書や読み聞かせなど、学校で行われている読書活動に積極的に取り組み、本に親しんでいる児童が多いです。
- 学習の中でICT機器が役に立っていると答えている児童が90%を超えており、普段から様々な教科でタブレットを活用した授業をおこなっている成果が表れています。

◆本校の課題と思われるところ

- 話し合い活動を通して、解決方法を決めたり、自分の考えを深めたりすることについては、苦手と感じている児童が多いことがわかります。
- 「英語の学習は大切」と感じている児童は多数いますが、意欲的に英語の授業に参加している児童は61.4%であるため、たのしい・わかる授業を展開し、学習意欲を高める必要があります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「朝食を毎日、食べている」児童が多く見られました。規則正しい生活習慣が定着していることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 地域社会のために自ら行動したいと考えていても、実際に地域の行事に参加することは少ないようで、地域とのつながりが希薄になってきている様子が見えます。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」の設問では、全国平均・海老名市平均を下回りました。自己肯定感が低いことがわかります。

今後の具体的な取組について

- 互いの考えを伝え合い広げる活動を取り入れた国語科の校内研究を中心に、一人ひとりが学びをたのしめる授業づくりに努めます。
- 児童一人ひとりのよさが発揮できるような教育活動の展開や互いの良さを認め合えるあたたかな雰囲気醸成していきます。
- 人とのかかわりの大切さに気づき、「学校が楽しい」と思えるような心の教育を充実させていきます。

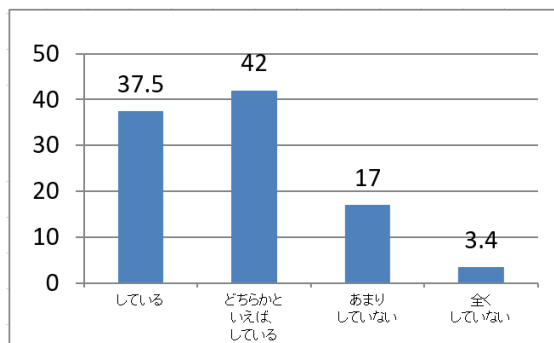
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

引き続き、規則正しい生活習慣を心がけましょう。

「起床」「食事」「就寝」をほぼ毎日同じリズムで生活することは、日々の健やかさを保つことにつながります。引き続き、規則正しい生活リズムを意識して生活しましょう。

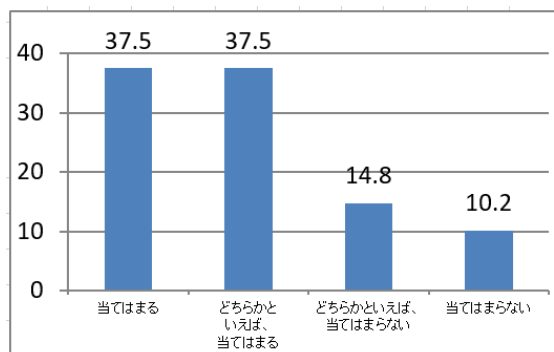


毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

2

本を読む機会を大切にしましょう。

読書は、集中力や語彙力、読解力を高めるとともに、コミュニケーション能力の向上やリラックス効果もあると言われています。引き続き、本に親しむ機会を大切にしましょう。

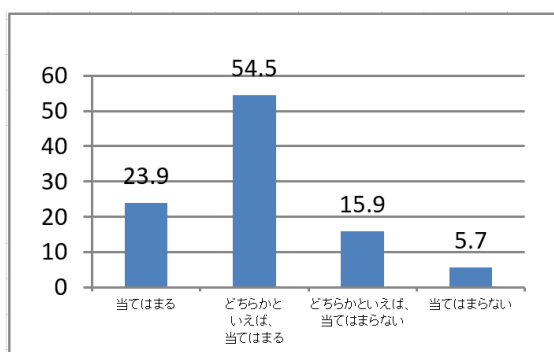


読書は好きですか

3

地域の行事に参加してみたいかがでしょう。

質問紙調査によれば、本校6年児童は、「地域や社会をよくするために、何かしてみたい」と考えている児童が多いです。地域の行事に参加して、地域・社会のためにできることを考える契機としましょう。

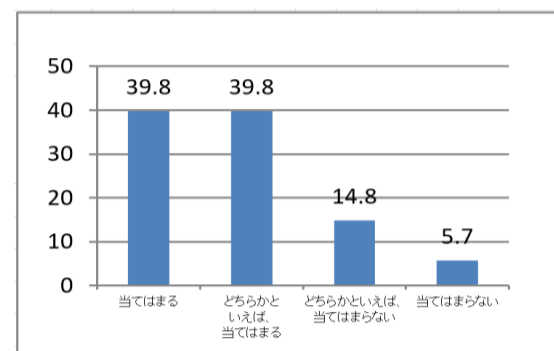


地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

4

自分と異なる考え方や生き方との出会いを大切にしましょう。

自分と違う意見や生き方との出会いは、自分自身の考えや生き方を見つめ直したり、広げたりするチャンスです。さまざまな「違い」を、肯定的に受け止められるように心がけましょう。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、
えびなっ子ひとりひとりの
学びを保障する教育をめざします**



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係